

国際医療福祉大学大学院

INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE GRADUATE SCHOOL

GUIDEBOOK

生殖補助医療 胚培養分野

医療福祉学研究科

■修士課程 保健医療学専攻

■博士課程 保健医療学専攻



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学



生殖補助医療胚培養分野 分野責任者
(国際医療福祉大学大学院教授)

くすみ まき
久須美 真紀

日本産科婦人科学会専門医
日本生殖医学会生殖医療専門医

PROFILE

東京大学卒、医学博士
前東京大学医学部附属病院助教
山王病院 リプロダクション・婦人科内視鏡治療センター長

生殖補助医療で生命の誕生を支える胚培養士

不妊症の治療に、生殖補助医療（体外受精や顕微授精など）は欠くことができません。日本では年間約8.5万人を超え、出生約10人に1人が生まれる今日、生命をつなぐ人間の営みや子どもをもつことの意義さえ問われています。胚培養士は採卵された卵子を自分の目で評価し、体外で卵子と精子を出会わせ、必要な場合は顕微授精の技術で受精を補助します。さらに受精卵を培養し、良好胚へ発育させて移植や凍結に技量を発揮します。胚培養士の技能が、生殖補助医療の治療成績を左右するといっても過言ではありません。この胚培養士の技量は単に手先の技術だけではなく、生殖生物学はもちろん、遺伝学、産婦人科学、泌尿器科学など集学的・学際的な知識のもと、高い倫理観念があって初めて達成されます。当分野では、単なる技術だけでなく、科学的裏付けを持つ思考により、さまざまな状況に対応できる「考える胚培養士」を養成します。

魅力的な授業と実習

系統的講義では日本の生殖補助医療をリードする講師陣を集め、胚培養士に必要な知識を網羅した魅力的な授業を行います。修士課程では、リプロダクション・婦人科内視鏡治療センターのある山王病院をはじめとする関連施設において、熟達した指導教官のもと、2年間で720時間におよぶ実習により、必要な技術を修得します。既に胚培養士として活躍している方には、スキルアップ・キャリアアップと一段上の生殖補助医療管理胚培養士の試験合格への近道にもなります。必須科目（講義のみ）および一部の選択科目はVOD（ビデオ・オン・デマンド）に対応しているため、都合により受講できなかった場合でもWeb上で視聴し、課題を提出することで単位認定につなげることができます（視聴期間には期限があります）。『2024年度より山梨大学との単位互換により、基礎生物学関連の4科目を選択することができるようになりました。

*既に胚培養士として勤務しており、当学と勤務先が委託契約を締結できた場合、委託実習という形態を選択することができます。全ての実習時間を委託実習先のみで実施することもできます（詳細は担当者までお問い合わせください）。また、ご希望の内容に関してのみ関連施設で実習を行うこともできます。

胚培養士(エンブリオロジスト)

業務内容

生殖補助医療を行っている医療機関において、配偶子および胚に関する培養業務全般を担当するとともに、データや凍結検体の管理、培養室の運営に至るまでを、医療従事者として幅広く担う。

資格

学会認定の資格制度として、日本卵子学会の生殖補助医療胚培養士および生殖補助医療管理胚培養士がある。

当分野がめざす胚培養士

生殖補助医療によって年間約8.5万人もの新生児が誕生している昨今、胚培養士が果たしている功績は大きく、超高齢化・少子化が叫ばれているなか、今後その必要性はさらに高まると予想される。このような状況で胚培養士としてさらなる飛躍を遂げるためには、培養技術だけでなく幅広い知識、高い倫理観、患者サポートなどさまざまなスキルが要求される。胚培養士は、こうした幅広い社会的ニーズに応えるため、日々研鑽を積んでいく必要がある。当分野では、山王病院をはじめ、国内有数の技術と実績を誇る国際医療福祉大学グループの関連施設と連携しながら、日本でも屈指の充実した教育陣が、考える胚培養士を養成する。

生殖補助医療胚培養分野は2005年に日本初の胚培養士養成課程として開設されました。

国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科

修士課程 保健医療学専攻 生殖補助医療胚培養分野

○修業年限：2年 取得できる学位：修士（生殖補助医療学）

博士課程 保健医療学専攻 生殖補助医療胚培養分野

○修業年限：3年 取得できる学位：博士（生殖補助医療学）

○受講キャンパス：東京赤坂、大田原、成田、小田原、熱海、福岡、大川

○選抜方法：社会人入試は、出願書類と面接試験（個人面接）の結果を総合して判定
一般入試は、出願書類と面接試験（個人面接）、小論文試験の結果を総合して判定

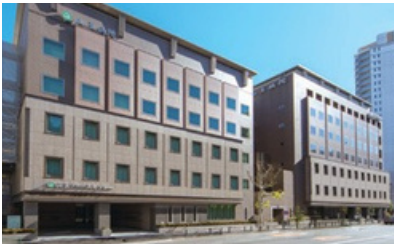


※詳細は最新の「学生募集要項」をご参照ください。大学院ホームページ（<https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>）でもご確認いただけます。
※修士課程は、専門学校等を卒業された満22歳以上の方も出願可能です（国家資格保持等の条件を満たしている必要があります）。

カリキュラム（授業テーマ例）

生殖補助医療と生命倫理、胚培養概説	不妊治療における治療方針の立案方法
不妊治療におけるインフォームドコンセント	不妊治療に必要な周産期学の知識
培養室および設備、器具、管理 1	配偶子、胚の代謝
培養室および設備、器具、管理 2	不妊症患者が医療機関、胚培養士に望むこと
女性不妊症の原因と検査 1	培養液の基礎 1
女性不妊症の原因と検査 2	培養液の基礎 2
不妊と子宮内膜症	胚および卵子凍結の基礎と臨床
生殖生物学概論	精子凍結保存方法の基礎と臨床
ラボ内での常識 A B C	胚培養士による不妊症患者との対話
卵子の形成	生殖系列細胞の流れ、細胞のプログラム
卵子成熟、排卵機構	遺伝子の基礎知識 1
排卵誘発法の基礎(副作用を含む)	遺伝子の基礎知識 2
ARTの卵巣刺激法	卵細胞質内精子注入法の理論 1
採卵法、着床機構	卵細胞質内精子注入法の理論 2
男性不妊症の疫学及び診断	卵細胞質内精子注入法の実例 1
男性不妊症の内科的治療	卵細胞質内精子注入法の実例 2
男性不妊の診断と治療	胚培養士に必要な基礎統計学
男性不妊症の外科的治療	胚培養士のための学会発表、論文作成
精子機能検査法	胚移植法、黄体期管理
受精のプロセス 1	配偶子、初期胚の染色体異常、ARTの遺伝的考察
受精のプロセス 2	生殖と遺伝
ARTの精液調整法	着床前遺伝子検査
検卵・卵子培養法	不妊予防、周産期医療からみた生殖補助医療
胚培養法と胚評価の実例	がん生殖医療
体外受精の媒精・受精・胚発生	不育症
胚移植の準備、胚凍結保存・A H Aの実例	生殖医療の現状と今後
酸化ストレスが生殖細胞に与える影響	生殖医療に必要な内視鏡検査、治療 1
培養室のトラブルシューティング	生殖医療に必要な内視鏡検査、治療 2
卵子凍結	スタッフ教育・データ管理
出生前遺伝子診断	卵巣年齢の評価法・FSHとAMH、講義全体のまとめ

実習に協力している グループ関連施設



山王病院（東京都港区）
<https://www.sannoclc.or.jp/>



国際医療福祉大学那須医療センター
（栃木県那須塩原市）
<https://hospital.iuhw.ac.jp/>



高木病院（福岡県大川市）
<https://www.kouhoukai.org/takagi/>

教育陣のご紹介

※学内講師、非常勤講師は変更の可能性があります

学内講師	久須美 真紀	教授（山王病院 リプロダクション・婦人科内視鏡治療センター長）
	堤 治	教授（山王病院 名誉病院長）
	柳田 薫	教授（国際医療福祉大学病院 リプロダクションセンター長）
	北島 道夫	教授（高木病院 女性医療センター長）
	野見山 真理	准教授（高木病院 副院長）
	江上 りか	准教授（国際医療福祉大学大学院）
	猪鼻 達仁	講師（山王病院 不妊技術室 室長）
	西山 和加子	助教（高木病院 係長）
	アルアリアシー らるび	助教（国際医療福祉大学大学院）
非常勤講師	阿久津 英恵	国立成育医療研究センター 再生医療センター 生殖医療研究部 部長
	八尾 竜馬	扶桑薬品工業株式会社 研究開発センター 上席研究員
	山本 美幸	順天堂大学医学部附属順天堂医院
	岡本 加奈子	Nexpring Health Japan 株式会社
	野曾原 誉枝	NPO法人 Fine 理事長
	江副 賢二	加藤レディスクリニック研究開発部 主任
	秋葉 陽子	ウイメンズ・クリニック大泉学園 培養室顧問
	中林 一彦	国立成育医療研究センター 周産期ゲノミクス研究室 室長
	上野 智	杉山産婦人科 培養研究部長
	小林 護	Varinos株式会社

※敬省略

国際医療福祉大学大学院

保健・医療・福祉専門職のキャリアアップを支援

「働きながら大学院で学びたい」社会人が学びやすい本学大学院の特長

全国7都市（栃木県大田原市・千葉県成田市・東京都港区・神奈川県小田原市・静岡県熱海市・福岡県福岡市・福岡県大川市）にキャンパスを展開する国際医療福祉大学大学院は、平日の夕方以降や土日祝日に授業を集約したカリキュラムとさまざまなICT教育ツールにより、全国の社会人の学びを支援しています。

ICT 教育ツール

- 自宅など、どこからでも手軽に授業や研究指導を受けられる、Webコミュニケーションツール
- 通勤・休憩時間など、いつでもどこでも自分の都合に合わせて学修できる、eラーニングシステム
- 多数のコンテンツで保健・医療・福祉を幅広く学べる、VODライブラリー



医療福祉学研究科

修士課程

保健医療学専攻

- 看護学分野
- 特定行為看護師養成分野
- 助産学分野
- 理学療法学分野
- 作業療法学分野
- 言語聴覚分野
- 視機能療法学分野
- 福祉支援工学分野
- リハビリテーション工学分野
- 放射線・情報科学分野
- 生殖補助医療胚培養分野
- 医療福祉教育・管理分野
- 臨床検査学分野

- 災害医療分野
- 遺伝カウンセリング分野
- 医療福祉経営専攻
- 医療経営管理分野
- 診療情報アナリスト養成分野
- 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野
- 医療福祉学分野
- 医療福祉ジャーナリズム分野
- 医療通訳・国際医療マネジメント分野

臨床心理学専攻

博士課程

保健医療学専攻

- 看護学分野
- 助産学分野
- 理学療法学分野
- 作業療法学分野
- 言語聴覚分野
- 視機能療法学分野
- 福祉支援工学分野
- リハビリテーション工学分野
- 放射線・情報科学分野
- 生殖補助医療胚培養分野
- 医療福祉教育・管理分野
- 臨床検査学分野
- 災害医療分野

- 医療遺伝学分野
- 医療福祉経営学分野
- 診療情報管理・分析学分野
- 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野
- 医療福祉学分野
- 医療福祉ジャーナリズム分野
- 臨床心理学分野

薬学研究科

博士課程（4年制）

医療・生命薬学専攻

薬科学研究科

修士課程（2年制）

生命薬科学専攻

- 生命薬学分野
- 医療薬学分野

医学研究科

博士課程

医学専攻

- 基礎医学研究分野
- 社会医学研究分野
- 臨床医学研究分野

専門職学位課程

公衆衛生学専攻

- 国際保健・感染症学分野
- 疫学・社会予防医学分野
- 医療福祉政策・管理学分野

大学院に関するお問い合わせ

東京赤坂キャンパス事務部 大学院全般について Tel：03-5574-3900 E-mail tokyo.s.c@ihwg.jp
入試について Tel：03-5574-3903 E-mail daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp

学生募集要項は以下HPからご確認ください

HP <https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/admission/requirement/>

国際医療福祉大学

- 大田原キャンパス
- 成田キャンパス
- 東京赤坂キャンパス
- 小田原キャンパス
- 大川キャンパス

国際医療福祉大学大学院

- 大田原キャンパス
- 成田キャンパス
- 東京赤坂キャンパス
- 小田原キャンパス
- 熱海キャンパス
- 福岡キャンパス
- 大川キャンパス